

J H F 理事会議事録

日 時： 2026年1月27日(火) 13:00～16:30

場 所： J H F 事務局会議室(北区中里1-1-1-301) /ZOOM 会議

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 高瀬吉康 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 高瀬吉康 竹村治雄 濱田 革 横田 開
オンライン (ZOOM) 橋田明夫 (途中出席)

【監事】 オンライン (ZOOM) 岩村浩秀

欠席【理事】 廣川靖晃

(出席理事6名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

竹村会長：2, 3月はツリーラン講習会、教員検定員検定会等がある。事故は年末にもあったと聞いている。また、全ての事故が報告されているわけではないので改善したい。

芦川副会長：パラグライダーの事故ではないがお正月のランチャー台の事故は残念であった。

濱田副会長：各競技委員会は順調に進めている。パラグライダー日本選手権は北海道・ニセコを予定していたがゴンドラ工事で開催ができなため、他での開催を検討する。

橋田理事：タンデムも含め補助動力技能証規程の見直しを検討中。日本パラモーター協会との関係も考慮したい。

横田理事：教員スクール事業委員会からの教員技能証規程改訂案の検討と教本デジタル化の報告がある。

高瀬理事：J H F の Instagram への提供。海外の事故や状況についてもチェックをしている。

4. 審議事項

第4-1号議案 J H F 正会員（都道府県連盟）助成金事業交付規程について

11月14日理事会でJ H F 正会員助成金事業交付規程の実績報告提出期限を「原則6ヶ月以内」とすることで決議をし、規程改訂を制度委員会に依頼した。制度委員会からは、交付申請、実績報告に「理事会の承認を得ることにより」との文言が追記されていた。他との文言統一もあり、制度委員会からの規程案の

(交付申請)第5条の2行目「ただし、J H F が特に認める場合は」という箇所を「ただし理事会が認める場合は」に訂正することでJ H F 正会員（都道府県連盟）助成金事業交付規程を改訂することで議決した。

J H F 正会員（都道府県連盟）助成金事業交付規程について、一部文言訂正を経て改訂することで議決する。

出席理事全員（議長を除く4名）の賛成で承認

第4-2号議案 国内外技能証移行申請見直し 技能証規程について

国内外技能証移行申請の際は、J H F 学科問題を受検、合格が必要とすることを11月14日理事会で議決し、制度委員会に技能証規程改訂を依頼した。制度委員会から該当がある各編の必要箇所の改正案が出た。

X) J H F 以外の団体等が発行した国内外で同等の技能証を取得したものは、3) からX) の項目に該当しなくても別途J H F の定める試験に合格した上で理事会の承認があれば申請出来る。

(制度委員会)「国内外で」部分で国内は他団体を指しているが、国外はN A C (National Air sport Control) に限

らない団体の可能性もあるため、含有できる表現として「JHF以外の団体等が発行した」とした。

制度委員会からの技能証規程の各編の申請資格の改訂案（上記太字）について議決する。

出席理事全員（議長を除く4名）の賛成で承認

制度委員会から、教員スクール事業委員会と補助動力委員会へは現存の各学科問題ではなく「JHFが定める試験」の検討を諮問するべきであると指摘が出た。教員スクール事業委員会からも専用のテキスト等が必要ではないか意見が出ている。JHF以外の団体等が発行した技能証を移行申請の際の試験内容を検討することを、教員スクール事業委員会、補助動力委員会に諮問する。

JHF以外の団体等が発行した技能証をJHF技能証へ移行申請の際に必要なテキスト、試験内容について検討を諮問することで議決する。

出席理事全員（議長を除く4名）の賛成で承認

第4－3号議案 技能証規程（教員・助教員実技科目表）の一部改訂について

横田理事より、教員スクール事業委員会から、教員・助教員技能証規程の実技科目表について、表現の統一等の改定案が出たことの説明があり、改定案について制度委員会に諮問する。

教員スクール事業委員会から提案のHG教員・助教員技能証改定案、PG教員・助教員技能証改訂案を制度委員会に諮問することで議決する。

出席理事全員（議長を除く4名）の賛成で承認

第4－4号議案 宇都宮スカイフェスタの名義使用承認について

3月に開催される宇都宮スカイフェスタで実行委員会よりJHF名義使用承認が届いた。関東での試乗会イベントで、JPAだけでなくJHF会員も気軽に参加してもらえるようにウェブ案内と協力団体として名義使用の承認依頼である。

濱田副会長：栃木県内でのイベントでもあるので、栃木県連盟も協力をするのであれば承認としたい。

3月開催の宇都宮スカイフェスタのJHFウェブ案内と協力団体へのJHF名義使用について、栃木県ハング・パラグライディング連盟の協力を確認することを条件として議決する。

出席理事全員（議長を除く4名）の賛成で承認

（事務局から栃木県連に協力確認をして名義承認とした）

5. 協議事項

5-1 JAA航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」について

芦川副会長より、JAA航空スポーツ教室の説明とJHF協力状況の説明があった。協力依頼は「パラグライダーふわり体験会」で、近年は都道府県連盟で教員、パイロットスタッフ等の高齢化、人員不足により協力が出来ていない。2026年度の予定についてJAAから打診があり、都道府県連盟に確認をした。JHFとしても助成金を準備して都道府県連盟へ協力をお願いしていくこととする。引き続き、開催予定の都道府県連盟と調整をする。

5-2 教員検定受検資格について

(５－２より橋田理事出席)

横田理事より、今年度教員検定会受検希望者で助教員技能証有効期限が切れている人が数名いたが、今回は受検者から見送る連絡があったが、教員スクール事業委員会から今後解決法がないかと意見が出たことの説明。

竹村会長：助教員更新が出来る機会を来年度以降増やしたい。

橋田理事：教員検定申込には実務経歴証明書も必要であるが、実績は過去１年以内にしたらどうか。

横田理事：教員検定受検資格を「有効な助教員技能証を有すること」と明記し、教員実務期間については、１年以内過去３０日以降か等も含め制度委員会に諮問したい。

教員検定受検資格について制度委員会に諮問することを審議事項にすることで議決する。

出席理事全員（議長を除く５名）の賛成で承認

現在所持している有効期限のある技能証の上位の技能証取得のために学科、教習、実技およびその他の技能証を受検する際には、現在の技能証・認定証が有効であることとする改正案検討を制度委員会に諮問することを議決する。

出席理事全員（議長を除く４名（橋田理事不在））の賛成で承認

５－３ 教本デジタル化について

横田理事より、教本デジタル化の調査報告があった。印刷会社のロイヤルティーについて未確認の部分があり調整をして引き続き対応を進める。

６．報告事項

６－１ 補助動力上級タンデム技能証について

橋田理事より、補助動力委員会、教員スクール事業委員会、制度委員会で検討をしている補助動力上級タンデム技能証について現時点の報告と引き続き検討していくことの報告があった。

６－２ 予算実績表

６－３ 会員数・技能証発行件数

予算実績、フライヤー会員数、技能証発行件数等について確認した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。(出席理事)

理事

芦川雄一郎 印

高瀬吉康 印

竹村治雄 印

橋田明夫 印

濱田 革 印

横田 開 印

監事

岩村 浩秀 印